

微量PCB分析のご案内

- 2001年7月15日
「ポリ塩化ビフェニール廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」施行
2016年7月15日までにPCBを全て処分
事業者は2016年までにPCB廃棄物を自ら処分、処分の委託をしなければなりません
- 2004年2月17日
廃重電機器等の廃棄時にはPCB混入の可能性の確認が必要
通達：環廃産発第040217005号
→現在使用中のものも、将来的には廃棄物に



固相前処理（固相抽出）

固相前処理（固相抽出）をすることにより絶縁油に含まれるPCB成分と絶縁油の劣化生成物を分離させ使用するろ材（フィルター）にて劣化生成物を除去します。

これによりクリーンアップ装置にかける前の段階でより分析精度を高める働きをします。



クリーンアップ装置



分析装置

前処理で油分とPCB含有成分を分離した後、GC/MS（ガスクロマトグラフ質量分析計）を使用し高精度の分析を行ないます。

従来の分析

従来のECD（電気捕獲検出器）を用いた成分分析ではPCB検出値が比較的多めに出る傾向が見られます。前処理後の溶出したピークがPCB成分であるかどうか分かりにくいことが原因と見られ、豊富な技術力・経験が必要となります。

分析器の校正

弊社では分析精度の確認として、新油にPCBを添加する試験を定期的に行っており、クリーンアップ時にクロマトグラムを記録することより前処理の成否を確認しております。

実績

現在、PCB分析実績数は300～400検体／月の分析を受注、ガス分析器、フルフルール分析器同様に精度の高い分析を行っております。PCBの処理可能数は800～900検体／月となります。

また、全国各地、100社強の工場、プラント様からの検査依頼を頂いております。

ご不明な点がございましたら、ご連絡ください。



株式会社極東エレクトック

（計量証明事業所として登録しています）

本社 TEL 052-804-0480
住所 愛知県名古屋市中区島田3-608-1
九州 TEL 092-461-2312
住所 福岡県福岡市博多区博多駅東1-10-23 新幹線ビル1号館
川崎 TEL 044-223-1138
住所 神奈川県川崎市川崎区砂子1-1-14JTBC川崎ビル

<http://www.kyokuto.co.jp>